

クレオ大阪 情報・図書コーナーの本は、  
図書カードを作って 借りることができます。(発行には、氏名・住所を確認するものが必要です。)

📖 クレオ大阪他館の本は、お取り寄せできます。

📖 リスト以外にもたくさん本があります。

ぜひ情報・図書コーナーをご利用下さい！



(出版年・分類番号順)

【中央館】【開室時間】 9:30~21:30 日祝は17:00閉室  
【閉室日】 ・月曜日(その日が祝休日の場合は開館)・祝休日の翌日(日曜日・祝休日の場合は開館)・特別整理期間・年末年始

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
あなたのフェミはどこから？	安達 茉莉子 // [ほか]著	平凡社	2025	367.1 1-2
ジェンダー平等世界一	イライザ・リード // 著 メディア協同組合アンフィルター // 監訳	明石書店	2025	367.2 1-3
ことばに潜むジェンダー 学校・本・テレビ・日常のなかのもやもや	遠藤 織枝 // 編著	明石書店	2025	810.4 1-3
戦前エキセントリックウーマン列伝	平山 亜佐子 // 著	左右社	2025	281.0 2-2
評伝森崎和江 女とはなにかを問いつづけて	堀 和恵 // 著	藤原書店	2025	910.26 8 2-2
学校とジェンダー 「ふつう」って何？	山根 真理 // 編著 高橋 靖子 // 編著	学事出版	2025	370 5-3
男女の進学格差はなぜ埋まらないのか？ 「ジェンダー・トラック」について考える	中西 祐子 // 著	岩波書店	2025	371.3 5-3
上野さん 主婦の私の当事者研究につきあってください	上野 千鶴子 // 著 森田 さち // 著	晶文社	2025	367.2 5-5
地方女子たちの選択	上野 千鶴子 // 著 山内 マリコ // 著 藤井 聡子 // 協力	桂書房	2025	367.2 5-5
本当にやる!できる!必ずやる! アイスランドの「女性の休日」	リンダ・オウラヴスドットイル // 作, 朱位 昌併 // 訳	ゆぎ書房	2025	726.7 6-4
私たちに名刺がないだけで仕事してこなかったわけじゃない 韓国、女性たちの労働生活史	京郷新聞ジェンダー企画班 // 著 すんみ // 訳 尹 怡景 // 訳	大和書房	2025	366.3 7-1
基礎ゼミジェンダースタディーズ	守 如子 // 編 前川 直哉 // 編	世界思想社	2025	367.1 13-1
ジェンダー史10講	姫岡 とし子 // 著	岩波書店	2024	367.2 1-1
挑戦するフェミニズム ネオリベラリズムとグローバリゼーションを乗り越えて	上野 千鶴子 // 編 江原 由美子 // 編	有斐閣	2024	367.1 1-2
完璧じゃなくていい、勇気ある女になろう	レシュマ サウジャニ // 著 岩田 佳代子 // 訳	海と月社	2024	159.6 1-4
テヘランのすてきな女	金井 真紀 // 文と絵	晶文社	2024	367.2 5-5
ルース・バイダー・ギンズバーグ アメリカを変えた女性	ルース バイダー ギンズバーグ // [ほか]著 大林 啓吾 // [ほか]訳	晶文社	2022	289.3 2-2
ルース・バイダー・ギンズバーグ 信念は社会を変えた!	ジェフ ブラックウエル // 編 ルース ホブデイ // 編 橋本 恵 // 訳	あすなる書房	2020	289.3 2-2
世界を驚かせた女性の物語[1] 社会を変えたい!女性リーダー&活動家たち	ジョージア アムソン-ブラッドショー // 著 リタ バトルッチオーリ // 絵 阿蘭 ヒサコ // 訳	旬報社	2020	280 6-4
エレノア・ルーズベルト 人権のために国連で活躍した大統領夫人	よし まさこ // 漫画 和田 奈津子 // シナリオ 相良 憲昭 // 監修 解説	集英社	2013	289.3 6-4

**【西館】** 【開室時間】 9:00~21:30  
 【閉室日】 ・月曜日(その日が祝休日の場合は開館) ・特別整理期間 ・年末年始

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
誰も踏みにじらない未来のためのフェミニズム ともに語り、ケア・共存・共生を考える韓国フェミニスト13人からの投げかけ	キム ウンシル // 編著 クォンキム ヒョンヨン // [ほか]著 秋元 美穂 // [ほか]訳	梨の木舎	2025	367.2 1-2
しなやかに生きる	杉山 菜穂美 // 著	文芸社	2025	557.8 1-4
ふたり暮らしの「女性」史	伊藤 春奈 // 著	講談社	2025	367.2 2-1
100年先の憲法へ 『虎に翼』が教えてくれたこと	太田 啓子 // 著	太郎次郎社エディタス	2025	323.1 4-1
地方で拓く女性のキャリア	野村 浩子 // 著	光文社	2025	366.3 5-1
女性政治家が増えたら何がかわるのか	秋山 訓子 // 著	集英社	2025	312.1 5-4
ルース・バイダー・ギンズバーグ 男女平等を実現するために正義をつらぬいた裁判官	二尋 鶴彦 // まんが 堀ノ内 雅一 // シナリオ 大林 啓吾 // 監修	集英社	2025	289.3 6-4
ダイバーシティ・女性活躍はなぜ進まない？	羽生 祥子 // 著	日経BP	2024	336.4 7-4
ガラスの天井を破る戦略人事 なぜジェンダー・ギャップは根強いのか、克服のための3つの視点	コリーン アーママン // 著 ボリス グロイスバーグ // 著 藤原 朝子 // 訳	英治出版	2023	336.4 7-1
わたしは反対! 社会をかえたアメリカ最高裁判事RBG	デビー・リヴィ // 文 エリザベス・バドリー // 絵 さくま ゆみこ // 訳	子どもの未来社	2022	//6-4

**【南館】** 【開室時間】 9:30~21:30  
 【閉室日】 ・月曜日(その日が祝休日の場合は開館) ・祝休日の翌日(日曜日・祝休日の場合は開館) ・特別整理期間 ・年末年始

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
ポストフェミニズムの夢から醒めて	菊地 夏野 // 著	青土社	2025	367.1 1-2
反乱は続いている 祖母・母・娘たちのフェミニズム	ファニー アンビョーンソン // [ほか]著 よこの なな // 訳	花伝社	2025	367.2 1-2
歴史をひらいた女たち たたかい続ける女たちの肖像人物で読むジェンダー史	江刺 昭子 // 著	インパクト出版会	2025	367.2 2-1
凜々しき明治女性たち	根岸 理子 // 著	論創社	2025	281.0 2-2
女性の階級	橋本 健二 // 著	PHP研究所	2024	367.2 1-3
こんな世の中に誰がした？ ごめんなさいと言わなくてもすむ社会を手渡すために	上野 千鶴子 // 著	光文社	2024	367.1 1-4
日本の女性・ジェンダーのいちばんわかりやすい歴史の教科書	飯田 育浩 // 著	グラフィック社	2024	367.2 2-1
なぜ東大は男だらけなのか	矢口 祐人 // 著	集英社	2024	377.2 5-3
マンガで読むジェンダー入門 男らしさ／女らしさの束縛から解放されよう！	メグ・ジョン バーカー // 文 ジュールズ シール // 絵 松丸 さとみ // 訳	いそつぱ社	2024	367.1 13-1
せかいでさいしょにズボンをはいた女の子	キース・ネグレイ // 作 石井 睦美 // 訳	光村教育図書	2020	367.2 6-4

## 【東館】

【開室時間】 9:30~21:30

【閉室日】・月曜日(その日が祝休日の場合は開館)・祝休日の翌日(日曜日・祝休日の場合は開館)・特別整理期間・年末年始

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
お寺に嫁いだ私がフェミニズムに出会って考えたこと	森山 りんこ // 著	地平社	2025	180.4 1-2
だったら、あなたもフェミニストじゃない？ 7人と語り合うフェミニズムとの出会いとこれから	アルテシヤ // 著 武田 砂鉄 // 〔ほか〕	講談社	2025	367.1 1-2
SISTER“FOOT”EMPATHY	ブレイディみかこ // 著	集英社	2025	367.1 1-4
フィンランド流〈ポジティブ変換〉のすすめ 女性のエンパワーメントのために	アンナ=マリア ウィルヤネン // 著 迫村 裕子 // 監訳 岩井 さやか // 訳	国書刊行会	2025	367.2 1-4
昭和100年の100人女性篇 文春ムック時代の軌にとらわれず己の道を歩いた女性たち		文藝春秋	2025	281.0 2-1
学校の「男性性」を問う 教室の「あたりまえ」をほぐす理論と実践	大江 未知 // 〔ほか〕編著 教育科学研究会 // 編著	旬報社	2025	370.4 5-3
保育はジェンダーを語らない 不可視・不可避の性と語りなおしの実践	天野 諭 // 著	かもがわ出版	2025	376.1 5-3
「時代」を切り拓いた女性たち 国境を越えた14人の闘い	原野 城治 // 著	花伝社	2024	281.0 2-2
三淵嘉子 日本法曹界に女性活躍の道を拓いた「トラママ」	青山 誠 // 著	KADOKAWA	2024	289.1 2-2
50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと	和田 静香 // 著	左右社	2023	367.2 1-2

## 【子育て館】

【開室時間】 平日10:00~21:00/土・日・祝10:00~17:00

【閉室日】・特別整理期間・年末年始

タイトル	著者	出版社	出版年	分類番号
とびこえる教室 フェミニズムと出会った僕が子どもたちと考えた「ふつつ」	星野 俊樹 // 著	時事通信出版局	2025	370.4 5-3
ピンクと青とジェンダー	石井 国雄 // 著 田戸岡 好香 // 著	青弓社	2025	367.1 13-1
「烈女」の一生	はらだ 有彩 // 著	小学館	2024	280.4 2-2
女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから	犬山 紙子 // 〔著〕	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2024	367.1 5-5
じぶんであるっていいかんじ きみとジェンダーについての本	テレサ ソーン // 作 ノア グリニ // 絵 たかい ゆとり // 訳	エトセトラブックス	2024	726.7 6-4
母にはなれないかもしれない 産まない女のシスターフッド	若林 理央 // 著	旬報社	2024	367.2 12-4
教育にひそむジェンダー 学校・家庭・メディアが「らしさ」を強いる	中野 円佳 // 著	筑摩書房	2024	367.2 13-1
フェミニズム 「女であること」を基点にする教養・文化シリーズ	加藤 陽子 // 著 鴻巣 友季子 // 著 上岡 陽子 // 著 上野 千鶴子 // 著	NHK出版	2023	367.1 1-2
世界一やさしいフェミニズム入門 早わかり200年史	山口 真由 // 著	幻冬舎	2023	367.2 1-2
『女の子だから』のない世界へ おしえてジェンダー！	プラン インターナショナル ジャパン // 編	合同出版	2023	367.1 13-1



3月8日は国際女性デー  
権利、正義、行動。  
すべての女性と少女のために

International  
Women's Day

クレオ大阪ブックフェア

# 国際女性デーの本棚

女性の権利や生き方、ジェンダー平等について考える本を集めました。  
この機会に、ぜひ気になる一冊を手にとってみてください。